

# 地域、保護者と学校が連携した小中一貫教育推進をめざした取組

下関市立名池小学校

## 学校運営協議会について

- ・ 地区懇談会・名陵中学校区合同学校運営協議会での熟議「地域がめざす学校の形」～小・中9年間の育ちを見据えて～
- ・ 創立110周年記念イベントについて
- ・ 地区懇談会・合同学校運営協議会で見えてきた課題について3分会での検討
- ・ オープンスクール・防災学習を参観後、意見交換



<協議内容の発表>

## 特色ある活動

- ◆ 地域と連携し、ふるさとを愛する心を育む取組

中東地区まちづくり協議会環境防災対策部会、下関中央消防署、下関市防災連絡会や防災管理課と連携した防災学習を全校児童対象にオープンスクール(自由参観日)として行いました。

消防署による「煙体験」、「通報訓練」や防災士による「ロープ体験」、「段ボールによる避難所体験」、また、教員による「危険予測学習(KYT)」など、地域、消防署、行政、学校が連携をとり、子供たちの防災意識を高め、地域の方とのふれあいを通して地域を愛する心を育てることを目的として取り組みました。子供たちにとっては、自分たちが多くの方に支えられていることを知り、お礼の手紙にも一生懸命取り組んでいました。



<通報訓練>

- ◆ ふれあいウォークラリー(11月20日)

「ふれあいウォークラリー」で学校周辺の名所史跡を16グループに分かれて巡りました。今年度は、明治維新150年を記念し「伊藤博文」をテーマにポイント場所を10カ所選定しました。名池小校区には、歴史的に価値のある名所史跡がたくさんあり、地域の方の説明によりそれらを知ることで郷土への愛情をもつことができましたと思います。



<旧英国領事館>

## 来年度に向けて

小中一貫教育推進校の指定が昨年度で終了したが、引き続き名陵校区の3校で小中一貫教育を進めています。その一つとして、今年は青少年育成協議会と連携し地区懇談会と学校運営協議会を兼ねることで地域・保護者・学校が一緒になって熟議を行いました。また、地区懇談会や防災学習などから見えてきた課題の克服に向けて、すぐに実践できることを中心に取組を具体化することと、長いスパンで計画的に進めることを整理することができました。来年度に向けて、3校の学校運営協議会、保護者、学校のそれぞれの組織が地域と連携してできるところから実践に移していきたいと考えています。

# 発信・名陵魂！

～誇りと志をもって下関から発信できる児童生徒の育成～

下関市立王江小学校

## 学校運営協議会について

主な協議内容

小中合同学校運営協議会

- ・名陵中学校区3校のコミュニティ・スクール構想・小中一貫教育推進の取組
- ・「地域がめざす学校の形小中9年間の育ちを見据えて」をテーマにした熟議等

王江小学校運営協議会

- ・平成30年度学校教育目標・学校経営方針・「新しい学校づくり」への取組等

## 特色ある活動

### ◆名陵中学校区での共通実践

名陵中校区3校のコミュニティ・スクール組織を統一し、学校運営協議会委員の方々も、教職員と同じ「活かせる学力」・「たおやかな心」・「健やかな体」の各部会に所属していただきました。小中合同研修会では各部会の課題や取組について教職員と共に協議し、多面的な視点から改善に向けた意見をいただくことができました。

### ◆「ふるさとを愛する心」の育成に向けた取組

3年生は、安全マップ作りで校区内の危険箇所や死角になりそうなところなど地域の方のご意見を参考に活動を行いました。安全マップは、全校に紹介したり、警察・市教委による通学路の緊急安全点検時に活用されたりしました。

### ◆地域の方の学校支援活動

夏季休業中に実施する補充学習「おうえ夏の寺子屋」の学習支援には、今年度も多くの地域の方々の協力を得られました。本校を卒業した中学生の協力もあり、先輩から後輩へのよい伝統が築かれてきています。このほかにも、水泳指導での見守りや遠足の安全見守り等、昨年度に引き続き多くの協力を得ています。

### 安全マップ作り



↑地域の方の話を聞きながら作った

### 秋の遠足



↑7名のお助け隊による交通安全見守り

## 来年度に向けて

- ・地域の方に小中一貫教育やコミュニティ・スクールの取組についての関心を高めてもらえるよう情報発信の工夫をするとともに、地域コーディネーターを核とした地域連携強化を図りたいと考えています。
- ・今年度より発足した図書ボランティアの活動は、保護者が中心となって活動している。今後、地域の方にも協力をよびかけ、学校図書館及び児童の読書活動のより一層の充実を図っていきたいと思います。

# 地域とともに 名陵魂

下関市立名陵中学校

## 学校運営協議会について

- ① 委員の構成  
14名（自治会関係者、学識経験者、民生児童委員、青少年育成協議会役員、同窓会関係者、地域の方、小・中学校 PTA 関係者）
- ② 実施回数  
学期に1回開催。この他に小中合同学校運営協議会も学期に1回開催。
- ③ 主な協議内容
  - ・学校の現状と活動状況について（5月、10月、2月）
  - ・本年度の学校経営・活動計画について（5月）
  - ・学校の課題と解決に向けた支援について（5月、10月、2月）
  - ・小中一貫教育研究の進捗状況について（10月、2月）
  - ・小中合同学校運営協議会（5月、7月、1月）
  - ・成果と課題、および評価について（10月、2月）
  - ・次年度の学校経営案と構想について（2月）

## 特色ある活動

- ① 小中学生と大学の留学生との交流会  
本校は校区内の2つの小学校との小中一貫教育の実践を進めています。この小中一貫教育の一環として12月7日（金）に、小学3年生、中学2年生と梅光学院大学の留学生による交流活動を行いました。はじめに留学生の方から出身国の食べ物や文化についての紹介があり、その後グループに分かれて、あいさつや自己紹介の仕方などを学びながら交流を深めました。
- ② 地区懇談会との同時開催  
名陵中学校区では、小中学校3校による合同学校運営協議会を年間3回開催しています。7月8日（土）に実施した小中合同学校運営協議会は、青少年育成協議会主催の地区懇談会と共同開催の形を取り、学校運営協議会委員、青少年育成協議会関係者、学校職員、地域関係者、保護者による熟議を行いました。「地域がめざす学校の形～小中9年間の育ちを見据えて～」をテーマに熱心な話し合いが行われました。



## 来年度に向けて

本年度は、上記の活動以外にも職業講話やふるさとを考える講話、調理実習での指導等、多くの教育活動において地域の方々のご支援をいただきました。来年度はこれらの教育活動の継続に加え、情報発信、開かれた学校づくりをさらに進め、学校運営協議会委員や地域の方とのユニット型研修を実施するなど、コミュニティ・スクールとしての活動をさらに充実させていきたいと思っております。